



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

堤防をつくり、流せる水の量を増やしました

地元の声

・堤防がない区間や、堤防が低い区間があるため、川が増水したときには危ない思いをしている。(地元区長)

事業前

- ◆ 大雨時、支川等から急激に水が流れ込むため、河川が氾濫するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

- ◆ 堤防を設置することにより、流せる水の量を増やし、河川氾濫による被害のリスクを軽減しました。



事業後の状況

事業の概要

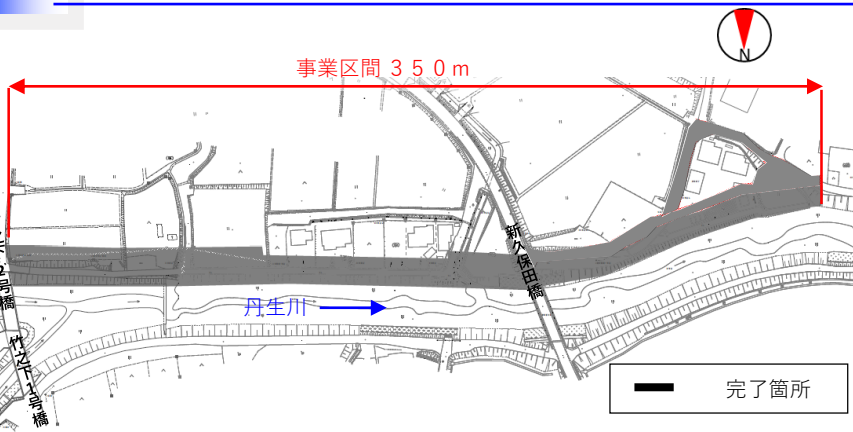
- 事業箇所：富岡市下丹生
- 事業内容：下流工区 全体延長 350m
河道拡幅、築堤
- 事業期間：平成28年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)

今、何をしているか

令和4年度で事業が完了し、河川氾濫による水害リスクを軽減しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了